

RIMINI CONNECT™ FOR BROWSERS

主なメリット

- » **過剰なコストを回避:**
継続的な運用と機能強化のための資金を確保しながら、ブラウザの互換性問題を解決
- » **イノベーションに注力:**
ブラウザの更新や予期せぬアップグレードの監督に気を取られずに、ビジネスに重要なイノベーションを推進
- » **投資価値を拡大:**
お好みのブラウザを使用して、既存のカスタマイズされた ERP アプリケーションやデータベースの寿命を延長し、より多くの価値を引き出す

「Rimini Street は、当社の SAP ECC システムと新しい Safari クライアントとの間で生じた非互換性の問題に対する洗練された修正方法をすぐに特定してくれました。Rimini Connect for Browsers を使用して HTML を解釈することで、SAP システム自体に変更を加えることなく、顧客やパートナーが OSX Safari または Windows IE クライアントを使用して SAP システムにアクセスできるようにすることができました。」

国際物流およびサプライチェーン企業の CIO

ブラウザの互換性を理解する

ほとんどの組織は、複数のデスクトップクライアントとモバイルクライアント (Windows、OSX、Chrome、iOS、および Android) のすべてが独自のインターネットブラウザを備えており、時には複数のバージョンが同時に動作している場合もあります。ERP アプリケーションが大半のビジネス機能に対するブラウザアクセスをサポートようになったため、ブラウザとアプリケーション間の互換性の確保がより重要となり、従来に比べて難しくなっています。

HTML はサーバーアプリケーションとブラウザの間で標準化された言語ですが、競合するブラウザプロバイダー間で非互換性が生じており、実際に、あるブラウザではテーブルの間隔に使用する HTML が、別のブラウザではセルの重なりに使われています。HTML 解釈のわずかな不一致により、複数ブラウザ間でのフォームや入力画面の不整合が生じ、データ入力エラーやユーザーの苛立ちにつながる結果となります。

ブラウザの互換性を確保

古いバージョンの ERP アプリケーションを扱う場合、ブラウザの非互換性を回避する方法は複数あります。Rimini Street では、コア ERP システムに手を加えないインターフェイス戦略を使用するようおすすめしています。

これらの戦略を使用すると、ERP システムに影響を与えることなく、モバイルタブレットクライアントやそのブラウザなどの新しいテクノロジーを IT インフラストラクチャに統合できます。これにより既存の安定したアプリケーションの寿命とパフォーマンスが大幅に向上するため、総所有コストを削減できます。

インターフェイスにおける方法論には、ブラウザプラグイン、デスクトップ仮想化、およびブラウザが含まれます。最後の方法は、複数のデスクトップおよびモバイルブラウザ構成をご使用の組織に特に最適です。

将来を見据えたブラウザ機能

Rimini Connect for Browsers では、主要なブラウザとバージョンを自由に使用して、ERP アプリケーションの寿命と価値を改善することができます。当社の特許取得済みのソリューションは、コア ERP および CRM システムの機能をそのまま残すインターフェイス戦略を使用しています。ERP アプリケーションから HTML を受信し、ブラウザとアプリケーションの任意の組み合わせに合わせて再解釈するルールベースのプログラム可能なエンジンを使用して簡単にインストールできます。高速なインメモリ操作により、応答時間を阻害せず、新たに非互換性が発生した場合は、ルールを簡単に変更できます。

Rimini Connect for Browsers は、ERP アプリケーションによって送信される HTML メッセージと互換性のないブラウザを無制限でサポートします。一般的な課題として、新しいブラウザバージョンまたは複数の種類のブラウザに準拠するために ERP システムの更新が必要となる例が挙げられますが、ERP コードを更新する代わりに、ERP アプリケーションから HTML を受信してさまざまなブラウザ用に再解釈するルールベースのプログラム可能なエンジンを備えた Rimini Connect for Browsers をインストールすることができます。

Rimini Connect はすべての主要ブラウザと互換性があります

» Chrome、Edge、Internet Explorer、Safari、Opera、Firefox など

「当社には大きな SAP コアが中心に据えられていますが、その場合、一般的にはアップグレードウィンドウ内に留まり、モダナイズするという従来のアップグレード方法を取ることであります。

しかし、当社が競争する業界でお客様に簡単で魅力的な体験や、より良いブランド体験を提供するためには、従来のアップグレードの道にとどまるよりも、現代的な技術に投資するための道を歩み、お客様がどのような方法でお買い物をすることを望んでいるかを学ぶためにその技術を生かすことが重要となります。」

国際物流およびサプライチェーン企業のCIO

Rimini Connect for Browsers は以下の方法でさまざまな課題を解決します。

- » ERP システムには手をつけない
- » すべての主要ブラウザとあらゆるバージョンとの互換性を保証
- » さまざまなブラウザやバージョンに対するアプリケーションの将来の互換性をサポート
- » 高速かつインメモリで動作し、応答時間に影響しない
- » 新しい非互換性が発生した場合、ルールを簡単に追加または変更可能
- » アプリケーションの回帰テストが不要
- » アプリケーションコードの変更やアップグレード、サーバーポータルとブラウザの変更が不要

RIMINI CONNECT FOR BROWSERSを使用したある企業の例

ある国際的なサプライチェーン・ロジスティクスサービス企業は、インターネットブラウザを介して SAP 注文システムへのアクセスを顧客とパートナーに提供する必要がありました。しかし、OSX Safari や Windows IE など、顧客やパートナーがどのブラウザを使用しているのかを把握する方法はありませんでした。同社では、Safari ブラウザと企業の SAP ECC 5.0 システムの間の非互換性の問題を解決するために、Rimini Connect for Browsers を実装しました。

Rimini Connect for Browsers がインストールされルールがプログラムされると、Safari クライアントに送信される SAP HTML コードがシームレスに傍受され、再解釈されて Safari クライアントに正しく表示されるようになりました。同時に、古い IE ブラウザに送信された HTML メッセージは変更なしでパスすることが許可されていたため、SAP アプリケーションは両方のクライアントと正しく通信できました。

その結果、SAP システムに変更を加える必要はありませんでした。Rimini Connect for Browsers は、迅速かつ透過的で非常に効率的なソリューションです。同社は、最新のブラウザクライアントを ERP システムに追加すると同時に、既存のブラウザとの互換性を維持することができました。

相互運用性の問題を過去のものに

Rimini Connect スイートは、現在と将来のアプリケーションに常時稼働の適応性を提供する契約と展開が容易なソリューションを提供します。

[Rimini Connect for Browser](#) の詳細はこちらから。

riministreet.com/jp | contactjp@riministreet.com | [linkedin.com/company/rimini-street](https://www.linkedin.com/company/rimini-street) | twitter.com/riministreet